

たより



夏季休業中の研修講座をふりかえって

伊勢市教育研究所ではこの夏、師範授業、模擬授業、講演、実技、製作など、全部で 19 の講座を開催しました。

参加いただいた方から、「やる気がおこってきた」「またがんばろうという気持ちが出てきた」「毎年参加して刺激を受けている」「授業の楽しさを改めて感じた」「授業に早速活かしたい」・・・などの意欲にあふれた感想をたくさんいただきました。

秋はこれまでの取り組みが実る時です。様々な学習活動や行事の中で、子どもたちはそれぞれの力を発揮したり、仲間とのかかわり合いを深めたりしていくことなのでしょう。実り豊かな秋になること、夏の学びがそこに活かされることを願います。

引き続き、「伊勢市教育研究所たより」において、夏季休業中の研修講座の紹介をしていきます。

特別支援教育講演会「障がいのある子の支援について」 講師：野澤和弘さん（毎日新聞論説委員）

8 月 7 日（木）、毎日新聞論説委員の野澤先生をお迎えして、特別支援教育講演会を開催しました。

特別支援教育コーディネーター及び学習支援員研修会、途切れのない発達支援講演会、三重県教育委員会ブロック別研修を兼ねての開催でした。当日は保護者・市民の方も含め、約 160 名の参加がありました。

講師の野澤さんは、1983 年に毎日新聞社に入社後、社会部で厚生省担当、薬害エイズ取材班、児童虐待取材班などを歴任されてきました。また、全日本手をつなぐ育成会理事・権利擁護委員会委員、千葉県障害者差別をなくす研修会座長等も務めてこられました。障がい者の権利、福祉のあり方について、全国各地でご講演され、たくさんの書著もおありです。

新聞記者としての視点とご自身の子育ての体験から、特別支援教育、子育て、社会のあり方についてお話いただきました。自閉症の息子さんを育ててきた中で悩まれたこと、日常生活の中で困ったこと、施設の職員への思いと葛藤、息子さんが成人した現在の心情に

についてのお話では、「先生の言葉にわが子を思い、感動しました」という感想が保護者の方から寄せられました。また、野澤さんの「自分のコンディションでとらえかたが違う」「自分が元気であることが大事」という言葉に、参加者は励まされたり、子どもへの関わり方について気持ちを新たにしたりしました。

戦後の社会福祉、障がい者の権利擁護制度、障害者虐待防止法、障がい者虐待の事実についても、資料とともに丁寧に説明していただきました。「障がい者に対する虐待」については、実際に起こった事件を基に、その問題性を指摘され、虐待をする加害者の心理や、被害者の思い、被害者の家族の苦しみについて語られました。

ユーモアを交えながらも熱のこもった野澤さんの語り口調は、参加者の気持ちを引き込んでいきました。また、虐待はどこでも起こりうるという部分では、一人ひとりが改めて自分の家庭や職場を見つめなおす時間になりました。

♪♪♩♪♩♪ ♪♪♩♪♩♪ 真のニーズに基づいた支援とは ♪♪♩♪♩♪

真のニーズに基づいた支援は、その子の問題行動の防止と行動改善だけではないと、野澤さんは話されました。それぞれの強みや長所など、ポジティブな面を探り出し、そこから真のニーズを発見して、その実現に向けたクオリティ向上のための支援を進めること、本人の自尊心を育てること、支援者が行動の要因と環境を分析し、適切な支援をしていくことが重要なのです。

野澤さんは、例として、ざわざわした場面が苦手で、昇降口で他の子に噛み付くことのある子、ある子のことをあげられました。その子の行為には、ざわざわ騒がしいのが苦手であるという本人の要因、騒がしいことについて苦情を伝えるのが難しいというコミュニケーション上の困難、どう解決すればいいかわからないという想像上の困難が要因としてあり、それに対し適切な支援が欠如していることで、イライラが高まり、噛みつくという問題行動を誘発していたのです。そんな際、支援者が要因と環境を分析し、ざわざわ騒がしい昇降口を通らなくてもいいように、本人の靴を持っていくなど動線を整理することで、問題行動を誘発しないで済み、周囲から肯定的な評価を得ることにつながっていくのです。

そのような支援をするためには、日常の行動観察が重要であるでしょう。

参加者アンケートから

「理解が深まった点」として、特別支援教育についての専門的な知識、障がいのある子どもに対する理解、子どもの問題行動をどうみるか、どうとらえるか、子どもたちへの関わり方、接し方などと回答していただいています。

また、自身の心がまえ、接し方、将来の見通しをもった指導の必要性についてもご記入いただきました。



※本講座は三重県教育委員会との連携講座であるため、県様式のアンケートを使用しました。

【 喫緊に対応すべきと考える教育課題等 】 アンケートから抜粋（一部）

- 安心・安定と落ち着きも大切だが、それだけでいいのか。一人の人として楽しい生活を過ごせるように支援していくことが大切だと思いました。
- 本日の講演を聞き、問題行動の原因となることを探ることが大切だということがわかった。
- 傲慢さを捨てて、これから改善していきたいと思います。
- 大変良い講演でした。
- いい面を評価して伸ばしていくことが大切だ。
- もっとより多くの人たちに本日の講演内容のような考え方を広めること。
- 子どもへのアプローチ理解。保護者への対応について。
- 特別支援教育と小中学校を卒業した子どもたちの進路について。



- 将来への不安について今一番悩んでいます。
毎日の生活は子どもの行動パターンを冷静に見られるようになり、うまく対応できるようにやっとなれてきたように思います。（中略）
今日のお話の中で、「一緒、一緒」と思えることがたくさんあり、ほっとした気分になりました。うちの子も純粋で、素直で、律儀でとても大切な宝物です。
- ほっとした気分になりました。今日はありがとうございました。
自分の生活を振り返りながら聞かせていただきました。
穴があったら入りたいような内容の話もありました。
- 今回は障がいのある子の支援についてでしたが、日々の子育てに役立てる内容でした。
自分の心のコンディションをよくすること、客観的にみること、子どもの本質、気持ち、行動に興味を持って、一人ひとりの人間としてきちんと向き合い、子育てをしていきたいと思いました。
- 子どもに対する接し方の基本、子どもの立場で考えるということが分かりました。
いつもつい親の視点で行動してしまいがちですが、認識を新たにやっていきたいと思えます。
- 終盤にあった先生からの言葉にわが子を思い、感動しました。
またこのような講演会があれば、出席したいと思いますので、その際は案内等もよろしくをお願いします。
- 私にとって希望のもてる話でした。ありがとうございました。
- 先生方に今後の支援に活かしていただきたいと思いました。
困らずに過ごせる環境づくりを・・・
どうかこれからの教育現場で活かしていただき、安心して通える学校づくりにつなげてほしいです。素敵なお話、ありがとうございました。

NEST 活動紹介 ～わくわく宿泊体験記～

9月18、19日の2日間、南伊勢町にある「ネットワークリゾートなんせい」に「わくわく宿泊体験」に行ってきました。

1日目は、お弁当を食べた後、まずクルージングをしました。ヨットに乗せてもらって、湾の入り口までエンジンで進みました。スタッフの方々に教えてもらいながら一緒に舵を取らせもらったり、いかだで作業している人たちに手をふったり、湾の周りのきれいな景色を楽しんだりしました。



クルージングの次は、カヌーに挑戦しました。通級生どうし、または通級生と指導員がペアを組んで乗る事になりました。息もぴったり合って、順調に進むカヌーもあれば、右へ行ったり左へ行ったりと思うように進まず迷走気味のカヌーもありました。それでも広い海を自分の力でこぎ進むという体験をみんなで楽しむ事ができました。

カヌーの後は釣りをしました。行く前から釣りをとても楽しみにしていて自分の竿を持参した通級生もいましたが、今回初めて釣りに挑戦という通級生もいました。

ゴカイをえさにして、ちょっとした投げ釣りをしました。見た目がグロテスクなゴカイを苦労しながら針につけて、いよいよ釣りの開始です。みんな何が釣れるかわくわくしながら、釣り糸を垂らして待ちました。しばらくすると、「つれた！」という声が聞こえてきました。けっこう大きなコチでした。隣の人に針を引っかけてしまわないように



注意しながら、声をかけあって魚が釣れる瞬間を待ちました。みんなとってもわくわくした気持ちになっていました。結果、釣れたのはコチ、キス、ハゼなど。小さいながらもたくさんつれました。

夕食にはカレーライスとサラダを作り、釣った魚も焼いていただきました。カレー・サラダの係、飯盒の係、火おこしの係と前もって決めてありましたが、お互い足りないところを補い合いながら夕食の準備を進めました。

夕食の準備中から交代で施設にある五右衛門風呂に仲良く入ったり、夕食後にはみんなでいろいろな花火をして過ごしたりしました。

2日目も朝食後1時間程度でしたが釣りをしました。その日も小さいながら、カイズ(黒鯛の子)とゼンメ、ハゼ、フグなどが釣れました。釣れた魚を家へのお土産にした通級生もいました。

この宿泊体験を通して、他の通級生や指導員とともに楽しい体験や時間を共有できたことは、とてもよい経験、思い出になったことでしょう。

NESTでは、今後も様々な体験活動を通して、学校復帰にむけてのエネルギーをつけさせ、学校と連携し、子どもたちを支援していきたいと考えます。